OLDS COLLEGE
The place to go places

カナダ・オールズカレッジ
派遣留学生報告書

2013年度
第40回
OLDS COLLEGE

英語研修コース

竹林　佳南
Takebayashi Kana

平野　美澄
Hirano Misumi

北海道アルバータ酪農科学技術交流協会
Hokkaido-Alberta Dairy Science and Technique Exchange Association

北海道アルバータ酪農科学技術交流協会の交流について

＜交流の経緯＞

当協会は1973年に故佐藤貢先生（当時酪農学園理事長）とHorner博士（同アルバータ州副知事兼農務大臣）との間で「北海道とアルバータ州との酪農科学技術の交流を通じて酪農の振興と両国民の親善を図る」ことを目的とした交流協定が結ばれ、事務局を酪農学園内に置き、交流事業がスタートしました。そして、①大学（短大）教員の学術交流、②大学（院）学生の留学派遣、③酪農研修生の交流、の三つのレベルで交流活動が展開されました。これまで当協会を通じて行なった日加間の教員、酪農青年、研修派遣留学生等の交流は284名に及んでいます（2014年10月現在）。

＜酪農研修（実習）生の交流＞

1974～1990年の17年間に当協会から139名（研修期間１年）の酪農研修生をアルバータ州に派遣しました。一方、アルバータ州からは1975～1988年の14年間に37名が来道し、北海道内の指定酪農家に受け入れていただきました。

1990年にカナダ政府が国内の雇用確保のために労働ビザの発行を停止してからは、これまでの形での酪農交流は出来なくなり、1992年からの５年間はワーキングホリデービザで７名をアルバータ州に派遣しました。

＜アルバータ州立大学との交流＞

1974～1983年の10年間に、酪農学園大学・短大からアルバータ州立大学へ毎年１名、計10名の教員を留学派遣（１年間）しました。アルバータ大学からは、これまで主に夏期の短期研修という形で８名の教員が来学し、学生については酪農学園大学から７名を派遣しました。

2006年度からは５月～８月までの４ヶ月間アルバータ大学エクステンション学部のIELP（Intensive English Language Program）で英語を学び、９月からオールズカレッジで専門科目を履修する英語研修コースが新設され、これまでに11名を派遣しています（2014年10月現在）。

また、2007年度から設置された「佐藤貢・雪印乳業―酪農学園・アルバータ大学奨学基金」では、2014年度までに29名の酪農学園大学の学生が派遣奨学生として選ばれました。

2012年にアルバータ大学エクステンション学部は100周年を迎え、４月に在日カナダ大使館で開催された記念祝賀会に、当協会の佐々木均常任理事と堂地修事務局長が出席しました。

2013年６月に開催した当協会設立40周年記念式典には、エクステンション学部から学部長をはじめ、３名の方々にご出席いただきました。

＜オールズカレッジとの交流＞

1990年にカナダの労働ビザ発行停止により酪農交流が行き詰まりましたが、アルバータ州のオールズカレッジと当協会との酪農交流協定を締結し、現在のような幅広い学問分野の受け入れ体制が整うようになりました。1990年から現在までに79名の留学生を派遣しています（2014年10月現在）。

オールズカレッジは１～２年間で修得できる農業関係の多彩な教育プログラムを開設しており、農業生産、農業ビジネス、園芸、食品、食肉加工など多数の資格取得コースがあります。実学による技術修得プログラム（Apprenticeship）も提供しており、実学を重んずる酪農学園大学の教育方針に合致しています。

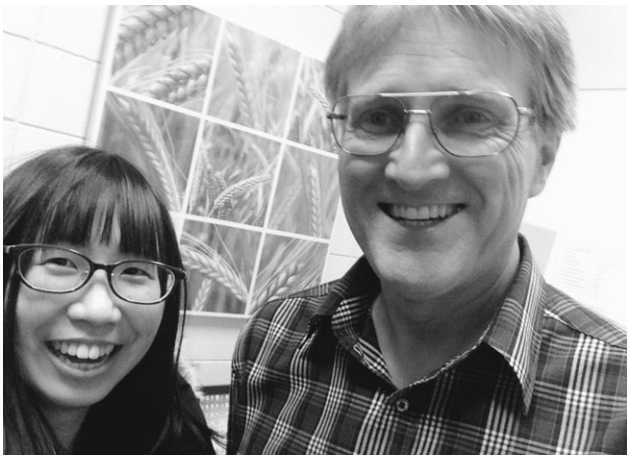
アルバータ州オールズカレッジ留学レポート

竹林　佳南
農食環境学群
循環農学類
3年生

＜５月＞

５月１日にエドモントンに着いてから、早くも一ヶ月が経ちました。英語のクラスであるESLは13日から始まりました。クラスの先生は、ESLでは珍しいエドモントン出身の方でした。そのため、発音が聞き取りやすくてとても勉強になります。なぜか今年はVSCPで来ている日本人がとても多く、クラスの生徒の半分は日本人が占めていて、ほかは韓国人、サウジアラビア人、コロンビア人、モンゴル人、中国人となっています。予想以上に日本人がいて驚きましたが、仲良くやっています。サウジアラビアや中国の人はイントネーションが違うため、何を言っているのかが聞き取れないので会話するのが少し大変です。また、クラスでは毎日宿題がでるので、授業後は友達と宿題をして過ごしています。

私は前に大学でカナダ短期留学のプログラムに参加したことがあったので、以前友達になった中国人と再会しました。久しぶりに会ったのですが、なにも変わってなくて少し安心しました。こちらで新しい友達を作るのもいいですが、以前の友達と再会するのもいいなと思いました。また週末には、ダウンタウンのJasper Avenue付近の公園で開催されたチャリティーマラソンに参加しました。５キロメートルマラソンだったのですが、周りの景色を楽しみながら走れたのでとても楽しかったです。このマラソンのあとに、ダウンタウンのファーマーズマーケットに行ってみました。ファーマーズマーケットとは、毎週土曜日に開催される、農家が農産物を直接販売する日本でいう道の駅みたいな感じです。ダウンタウンのファーマーズマーケットは、ダウンタウンの中心付近の交差点を通行止めにして、交差する道路にお店がずらりと並んでいる感じでした。私が行ったときは天気が悪く雨が降っていたのですが、とても人気があるみたいで買い物をしに来る人が多かったです。ほかのファーマーズマーケットに行っても多く混みあっていました。ファーマーズマーケットのお店を見ていくと、オーガニックフードが目立ち、はちみつやせっけんなどが売られていました。また、お祭りみたいに屋台などもあるので、立ち寄りやすく楽しいと思います。



一ヶ月生活してみて思ったことは、こちらは日が沈むのが夜の９時から10時くらいと遅いので、ときどき時間の感覚が分からなくなります。まだ明るいと思って、いろいろしていたら気づいたら10時をすぎていて焦ることがあります。時間には気をつけたいと思います。６月で学期が終わるので、充実した日々を送れるように頑張りたいと思います。

＜６月＞

６月初めにクラスの友達が誘ってくれたバーベキューに行きました。普段、なかなか知り合えない違うクラスの人達と交流できてよかったです。そこで知り合ったコロンビアとサウジアラビアから来た人がとても優しく、後日、私に彼らの国の料理を作ってくれました。カプサという料理で、本人たちは失敗したといっていたのですが、初めて食べるので美味しかったです。私もお返しに日本料理を作ってあげたりして、文化交流をしました。その時には焼きそばとどら焼きをつくったのですが、かなり気に入ってもらったので嬉しかったです。

また、友人のホストマザーがインストラクターを務めるズンバのクラスに参加しました。踊りながら楽しく痩せるというのがコンセプトで、とても楽しかったです。ただ、日頃の運動不足がたたっていたため、始まってすぐに汗が止まらなくなりました。そしてこの二日後に激しい筋肉痛に見舞われました。

今月はESLの40周年記念もあり、ESLの生徒全員でピクニックをしました。そこではクラス対抗でのアクティビティがあり楽しかったです。クラス対抗なのでクラスのユニフォームがあり、私たちのクラスのユニフォームはドット柄でした。しかし残念なことに、着て来なかった人が多かったです。お昼ご飯はそれぞれ自分の国の料理を持ちよったので、さまざまな国の料理が食べられていい経験になりました。

ほかには、二年前にカナダに初めて来た時に友達になった子との再会を果たしました。私のことを覚えてくれていて、とても嬉しかったです。これを機にまた会う機会を増やしたいと思いました。

話は変わりますが、今月中旬にカナダのカルガリーで洪水が起きました。日本では報道されていなかったようですが、大規模な洪水で、家が流された人たちが多くいたそうです。動物園が丸々流されるほどの洪水で驚きました。ここ100年で最大の被害だそうで、現地の人たちも大きな衝撃を受けていました。現地では災害に対しての対策は行われてなかったそうです。早く復旧することを祈っています。

＜７月＞

今月は前学期と次学期の間だったので、遊んだり旅行したりして過ごしました。

７月１日はCanada dayといってカナダの建国記念日です。この日にはお祭りがあり、必ず赤色の服を着るというルールがあるそうです。この日は友人のホストファミリーの集まりに参加させていただきました。家族全員で集まってごちそうを食べました。その後、打ち上げ花火を見に行きました。とても近い距離でやっていたので、火の粉が目の前まで落ちてきて驚きました。自国のことを祝うということに対して、こんなにも盛り上がるのだと思いました。

７月中旬にはバンクーバー、トロント、ニューヨークに行きました。まず、バンクーバーは日本人が多いなというのが第一印象です。やはり都会は住みやすいのかもしれません。イングリッシュ

ベイのイヌクシュク（カナダの先住民族であるイヌイットの人たちが、石や岩を積上げて作った、人間が両腕を伸ばした様な形をしたオブジェ）との出会いには感激しました。イングリッシュベイは町並みがきれいで人も優しかったです。

次に、トロント、ナイアガラフォールズ、そしてニューヨークへは前の学期で一緒のクラスだった友達と行きました。トロントに着いての第一印象はとても暑いということです。トロントではCNタワー（カナダにある通信用の塔）や美術館に行きました。ナイアガラフォールズは想像していた以上の迫力で感動しました。カナダ側からのナイアガラフォールズは、とてもきれいで迫力がありました。ニューヨークはかなり湿度が高くて、まるで日本の暑さでした。あまりに暑いのでクーラーが効いている建物に入ることが多かったなと思いました。

アメリカを旅行してみて、カナダ英語とアメリカ英語の発音の違いに驚きました。カナダ英語の発音の方がきれいで聞き取りやすいなと感じました。思ったよりも英語が通じている気がするので少しは英語力がついたのかなと思いました。

新しい学期では大幅に時間が変わりました。朝８時から13時30分までとなり、前はなかったお昼休みが設置されました。そのおかげで、お昼ご飯はみんなで一緒に楽しく食べています。今回の先生は長年writingを教えてきた先生なので、前の先生と比べて会話をする時間が短いです。先生によって何を重要視するのか変わるのだなと思いました。この先生の旦那さんは日本人で、先生は16年日本で生活していたというので、かなり親近感を持ちました。日本人が理解できない単語があった時に先生が日本語で意味を言ったときがあり、かなり驚きました。まだまだ授業は難しいですが、頑張りたいと思います。

＜８月＞

８月３・４・５日にHeritage festival というお祭りがありました。このお祭りには、その国の食べ物や民芸品が売られている世界各国のパビリオンがあり、そこで色々な体験が出来ます。私は日本のパビリオンで浴衣の着付けボランティアをしました。意外と日本のパビリオンは人気で、仕事は想像していた以上にきつかったですが、いろいろな人が日本の文化に興味を持って質問してくれました。日本のことについて知りたいと思っている人がたくさんいたので嬉しかったですが、日本文化を英語で説明することはかなり難しかったので、また次回このような機会があったときのためにももっと勉強をしなければと思いました。

先月から始まった授業は教科書のトピックや単語が難しいので、理解するのもかなり大変でした。とくにディスカッションのテーマが専門的でした。TEDは英語を勉強するのにかなり効果的だと聞いたので暇な時があれば聞いています。

一週間ほど私のホストファミリーが旅行に出かけるということなので、平野さんのホームステイ先にお邪魔しました。平野さんが滞在するホームステイ先はエドモントン市街で、行くのに、片道で１時間弱というのに改めて驚き、３か月間通っていた平野さんを尊敬しました。朝６時に起きるというのがかなりつらかったです。行きや帰りのバスの中では二人とも爆睡でした。テストやプレ

ゼン、ライティングの宿題があった時、勉強する時間が短かったので夜更かしもしました。前日に宿題を夜遅くまでやっていたら、当日二人とも寝坊し遅刻しました。バスをたった一本逃して遅刻するなんて思いもしませんでした。

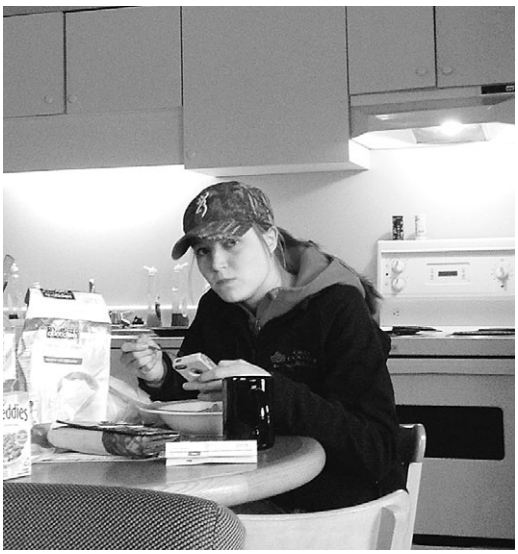
オールズカレッジに移動する前に友達が送別会を開いてくれました。ESLで出来た友達との別れは悲しかったですが、次に会うときが楽しみです。

８月末にオールズカレッジへ移動しました。オールズに着いてまもなく、success skills weekといった新入生へのオリエンテーションがありました。今までのESLとは環境が違って、ネイティブの先生の話すスピードはとても速く、話を聞き取ることが難しいです。講義の内容もほとんど理解することができませんでした。これから授業についていけるか少し不安です。また、カナダ人は時間にルーズだという印象を持っていたのですが、ここでは全く違いました。オリエンテーションが始まる15分前には教室にほとんどの生徒が集まっており、５分前に教室についたところもうすでに始まっていました。そのため、かなり恥ずかしい思いをしました。時間を守ることは大切だと改めて思いました。

ここではタウンハウスと言って４人で一つの建物を共有し、一人一部屋与えられています。まだ、私のところにはルームメイトがいないので、会うのがとても楽しみです。オールズカレッジの近くにはスーパーがないので、食料品を買うのが少し大変です。

＜９月＞

８月末では私が住んでいたタウンハウスにはルームメイトがいなかったのですが、今月の頭にルームメイトと初めて会いました。そのルームメイトは何と男の子でとても驚きました。オフィスの人に聞いて私のタウンハウスの申込書を確認すると、「あなたは異性と一緒に住むのに反対ですか。」という質問にいいえと答えていたようです。たぶん申込書を書いたときは英語があまりわかっておらず、適当に答えてしまったのだと思います。私のミスでした。しかし、その後すんなりと女の子のみのタウンハウスに変えてもらうことができました。



今月から本格的に専門の授業が始まりました。私が取っている教科は、Principle of crop, Water fundamentals, Annual cropsです。Annual cropsはとても専門的で、基礎知識がないとついていくのがとても大変です。授業は最初の方は何を言っているのか理解できず、理解したと思ったら話が

もう次に移っているということが多々ありました。そのため、授業後先生に頼んで解説してもらってやっと理解につながる感じです。また、はやくもテストがありましたが、結果はあまり良くありませんでした。毎日、予習復習はきちんとやっていますが、なかなか点数にはつながらないと改めて実感しました。次のテストは何とかいい点が取れるように頑張ります。Tutoringという家庭教師システムがあり利用できるそうですが、私の場合は取っている教科を教える学生がいなかったので無理でした。また、いっそ全部日本語で理解してみたらどうかと、すべて日本語に翻訳しようともしたのですが途中で諦めました。専門用語についてはすべて英語で覚えることにすると、かなり楽になりました。教科の勉強ももちろん大変ですが、実験はその場でレポートを書かなければいけないのでさらに大変です。

最近知り合った友達に優しくしてもらっています。その子は前年度オールズに派遣されていた子のことを知っていたため、親近感を持ってくれて、野菜のおすそわけをしてくれたり、実験のペアになってくれたりととても頼もしい存在です。カナダにきて英語を理解するのに苦労していることなど、話を聞いてくれてかなり助かっています。

しかし、やはり私の英語の発音の悪さが目立ちます。友達や先生に必ず聞き返されます。改善しなければいけないなぁと思います。

また、Water FundamentalsのField schoolで、Kananaskisという湖に行ってきました。なぜか

コーディネーターがField school のことを知らなくて、私の場合、環境系の学部と農学系の学部の教科を取っていたため、ほかの授業と被っていました。そのことを他の教科の先生に言いに行かなければならなくて大変でした。しかも、このField schoolは一回のみではなく複数回行われていたので、どちらかの授業に出るかを自分で判断しなくてはいけなかったのが何より大変でした。こちらのコーディネーターが新任らしく、対応がかなり悪いと感じました。また、今年度からiPadを導入し、授業でiPadを使うから買ってほしいといわれたので買ったのですが、特にiPadの必要性も感じず、ノートパソコンでもよかったのではないかと思いました。

寒暖差が激しいせいか、初旬に風邪を引いてしまいました。この風邪がなかなか治らなく、日本

の薬でも効かなかったので、つらくなったら早めに病院に行くことをお勧めします。環境の変化とオールズに着いてから休みがないということが大きな要因であると思います。早くこの環境に慣れたいです。

＜10月＞

８時頃に日が昇るので、朝起きるのが辛かったのですが、最近やっとこの生活にも慣れてきました。

ここのところ種植え機や収穫コンバインなどについて勉強をしているのですが、機械の部位が全然覚えられなくて苦労しています。この大学は農家の子が多く機械のことについて詳しいので、少し羨ましいです。

先月の報告書に書いた、前年度派遣の方を知っている子と話をしていてわかったのですが、東日本大震災の際にオールズの農家の方々が大量のサイレージを日本に送ってくれたそうです。その友達の家もサイレージを送ったそうです。このことを知って、オールズの人々は優しいと改めて感じました。少しずつですが、お礼を伝えていきたいなと思いました。

ハロウィンは意外とこじんまりしていた印象を受けました。装飾しているところが少なく、当日もコスチュームを着た人は学校では数人しか見かけませんでした。酪農学園大学内のほうが盛り上がっている気がします。

wifiが私のタウンハウスには無いことが最も私のストレスと言っても過言ではありません。かなり勉強しにくいです。図書館でwifi が使えるのですが、試験近くになると、利用者がかなり増え、入れないことが多々あります。なぜ早めにwifiを契約しなかったのかと悔やまれます。そして、どこのwifiの会社もwifi spotの貸し出しが限られており、早いもの順で無くなるという理解不能なことがあるそうなので、早めの契約が賢明です。

あと、ここに来て一番悩んでいることが、物の重要性についてです。コーディネーターや教授に必要だと言われたものが、必ずしも必要であるとは限らないということがわかって来て、その必要という言葉が意外と安易に使われているということを知りませんでした。そのため、物の必要性の見極めが出来ずかなり苦労しています。判断基準がそのコーディネーターなどの言葉しか無いという事が原因だと思いますが、ある程度自分の中での判断基準を作っておくことが大切だと思います。簡単なことではないと思いますが、まず、「必要」という言葉を鵜呑みにせずに、使用用途やその必要性は何かを詳しく聞いてみることがいいと思います。

＜11月＞

今月は書くことがあまりありません。１日から風邪を引いて二週間くらいダウンしていました。病院へはsecurityの方が車で連れて行ってくれたのですが、薬局（病院からは離れているところ）には連れて行ってくれませんでした。診察結果がでるまで最低一週間、家で待機という感じだったのでかなりつらかったのに、誰も薬局まで連れて

行ってくれず､最終的に自分で歩いていきました。どこに行ってもたらいまわしにされる感じが、とてもつらかったです。もっと友達に頼ることもできたのかなとちょっと反省しました。風邪で休んでいた分、課題が山積みになってしまい大変でした。クラスメイトに手伝ってもらいましたが、テストの結果は散々でした。その後、Annual Cropsという教科のTutorがやっと見つかったらしく、教えてもらえることになりました。風邪で遅れていた部分の農業機械や収穫について詳しく教えてくれたので、とても助かりました。

中旬にStud Nightというデートを買うイベントがありました。生徒の中から選ばれた10人とデートをしたい人はセリで落とすという、デートのオークションでした。ここでの利益はすべてsecurityへ使われるということで始められたイベントだそうです。そこに私のルームメイトが出ていたので見に行ったのですが、想像していたものとはかなり違いました。ファッションショーみたいで楽しかったです。

二週間ぶりにクラスに行ったときに、仲のいいクラスメイトが風邪を引いた私に気を使って、手袋をプレゼントしてくれました。とてもうれしかったです。あと少しでFinal Examが始まるので、また風邪を引かないように気をつけたいと思います。

＜12月＞

異常気象のせいか、連日吹雪で学校が二日間休校になりました。私が取っていたある教科の先生は吹雪など関係なく授業をやっていたので、ひどい天候の中、通学するのが大変でした。出席していた生徒はほとんどいませんでしたが、Final examのテスト範囲をやっていたので、出席してよかったです。また、悪天候の中、篠原さんと堂地先生が日本からわざわざ会いに来てくださいました。短時間でしたが、お二方から色々とアドバイスをもらい、これからの生活の過ごし方を見直さなければいけないなと思いました。

Final examの前に今まで受けたテストの結果や実験の評価が渡されました。Annual Cropの結果が思っていたよりはひどくはありませんでした。単位が取れるかどうかが危ういところにいましたが、Final examではそれなりに取れたと思います。ほかの教科はまあまあ良かったと思います。

ここからは休みでいった旅行についてになります。イエローナイフへオーロラを見にいきました。イエローナイフは思っていたより寒くありませんでしたが、滞在している間の天気はずっと曇りか雪だったので、町の風景はよくわかりませんでした。滞在一日目に運よく年に数回しか見られないというオーロラを見ることができたのでついていました。しかし､いざ写真を撮ろうとしたときに、カメラの設定をし忘れ写真がうまく取れず、苦い思いをしました。しかしながら、滞在最終日にきれいなオーロラがたくさん見られたのでよかったです。その後、モントリオール、オタワ、ケベックに向かいました。この三か所を訪れて感じたことは、エドモントンと比べて人が観光客なれしているということです。とても街並みもきれいでしたが、訪れた時はかなり吹雪などの悪天候ばかりでした。ほとんどカフェにいたりして、時間の使

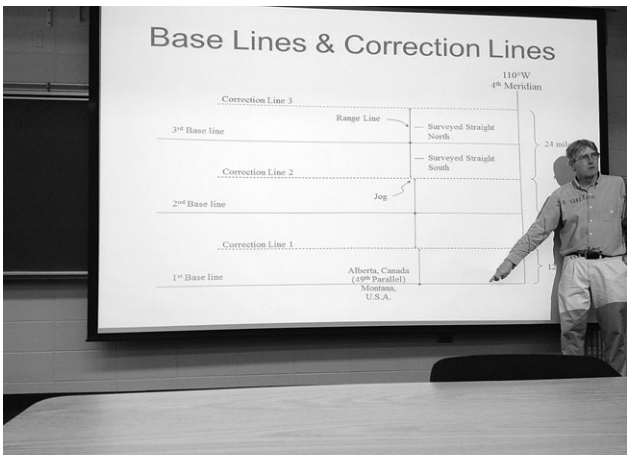
い方がもったいなかったですが､満喫できました。オタワでは、あまり観光する時間がなく、空港に行く前に国会議事堂を訪れました。時間短縮のためスーツケースをもって行ったのですが、荷物を入口で預かることはできないということで、スー

ツケースを持ちながら館内ツアーに参加しました。案内してくれていた人が、今までスーツケースをもってここに来た人はいないと言っていました。館内を移動する際に階段を上り下りするときはかなり大変でしたし、とても恥ずかしかったです。でも､国会議事堂内を見られて良かったです。館内はクリスマスツリーが飾られており、きれいでした。旅行から帰ってきた後、エドモントンで年越しをしました。今まで家族のもとを離れて年を越すことがなかったので、今回が初めて友達と過ごした年越しでした。年越しそばはカップラーメンを食べたのですが、やっぱりおせち料理が恋しくなりました。2014年も充実した年になるように頑張りたいと思います。

＜1月＞

1月上旬はエドモントンに滞在していました。家に帰ってきたら、部屋の暖房が壊れており、部屋の中のものが凍っていました。幸いすぐに対応してくれましたが、下旬にはコンロと洗濯機が壊れてしまい最悪です。修理の人がコンロを直してくれたのですが、洗濯機は変わらず壊れたままです。来月までに直るといいのですが。

今期は二教科だけ取ることにしました。英語とCrop nutritionを選択しました。空いている時間は英語の勉強をしたりしています。メキシコ人は



毎年30人以上来ると聞いていたのですが、今年は制度が変わったらしく3人でした。そのため、英語の授業は5人しかいないので、少しさびしくも感じますがみんなで仲良くやっています。英語の授業内容は、比較的簡単で、想像していたものとは違いました。初めの方は中学でやった内容などでした。去年取っていたESLでの進め方とは違うので、今後どういうことを学ぶのかが気になります。Crop Nutritionの授業は日本で取っていた授業と被っている部分もあるので、勉強はしやすいです。前取っていた教科ほどIDのテストが少ないので少し楽です。先生の都合で何回か休講になるのですが、その度にTwitterを用いて生徒全員で話し合ったりするのが少し難しいです。

特に、書こうと思った内容を打っている途中で論点などが変わってしまうので、話の流れについていくのが大変です。さらに、前期にとっていた先生よりも話すペースが速いので、聞き取るのが少し難しいです。これから慣れるよう頑張ります。

教会で毎週木曜日に無料Supperが行われているのですが、色々な学部の子と話ができるのとご飯を無料で食べられるのでかなり楽しいです。

この機会に、ファッションのコースをとっているフィリピン人の子と仲良くなり、後日日本食をつくってあげました。これから、残りの生活を充実させたいと思います。

＜２月＞

今月中旬にCanolaboのボランティアをしました。Canolaboとはcanolaの生育状況を調べるもので、今年はオールズカレッジでの主催だったため、このボランティアに参加させていただきました。ある土を用いて行う実験だったのですが、ある土に水をかけても吸収しないで土壌表面に水が残り、表面以下には浸透していかないものだったので、とても驚きました。この土壌にcanolaと小麦を植え、肥料の反応性を見るというものでした。この結果はcanolaは種の大きさが小さいため肥料への反応が敏感であるが、小麦はcanolaほど敏感ではないということが明確にわかる結果が出ました。また、どういう肥料のapplicationが生育にどう反応するかなど学びました。Canolaの生育など今まで一切知らなかったので、これを機会に多種だとどう反応するかなど学べてよかったです。

Reading weekの休み前に英語のクラスの先生が、アイスホッケーに連れて行ってくれました。こんなに田舎なのにアイスホッケーのリンクがあることに驚きましたし、この街のホッケーチームがあるのも知りませんでした。アイスホッケーが人気で親しまれているのは知っていましたがここまで関心が高いものだと知りませんでした。最近はterm projectが始まって少し忙しいです。Term Projectでは、土壌診断結果からどの栄養素が欠乏しているか、肥料はどういうapplicationが好まれるか、crop rotationを考えるなどしています。ペアワークなので二人の意見をいかにまとめるかが大変なのと、writingが合っているのかどうかがかなり不安です。

Reading weekにはユーコンに住んでいるルームメイトの家に行き、オーロラを見たり、サスカチュワン大学に行っている友達に久々に会ったりしてとても充実していました。

ちなみに洗濯機はいまだに直っていません。洗濯機の会社の人が点検をしに来てくれたのですが、直すとお金がかかるというので新しいものを持ってくるようにResidenceのOfficeに伝えておくと言ったきり、何も動きがありません。私のルームメイトがすでに５回以上Officeに抗議に行ったのですが、その後、違う修理担当の人がきて同じ結果を私たちに伝え帰っていき、現状に至ります。正直ここまで放置されると、ちょっとイライラします。普通の生活ができるようにしてほしいと願うばかりです。

そういえば、英語の先生に聞いたのですが、冬は１月が一番寒いと聞いていたのですが、11月

が一番寒かった気がします。これから、また寒くなると聞いたので風邪には気をつけたいと思います。

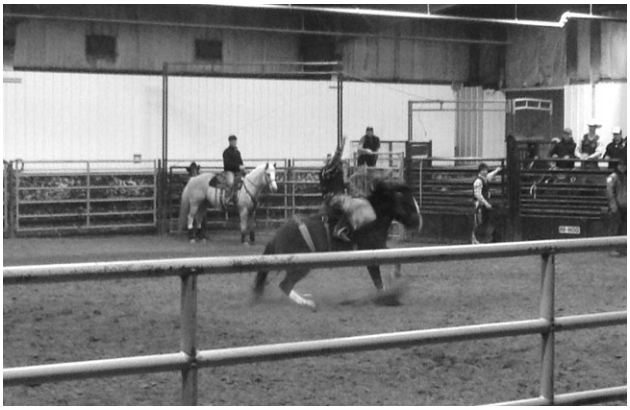
＜３月＞

今月は寒暖の差が激しかったので、とても体に負担がかかったみたいです。約半月は風邪を引いていたので、今回も内容があまりないです。

今回も咳がひどく、咳をするたびに体の節々が痛みます。動くのがとてもつらく、ずっと寝て過ごすことが多かったです。今考えれば早めに病院に行くべきでしたが、動くことが辛かったのでなかなか動けませんでした。今回は診療所へ行ったのですが、咳が止まらず胸の痛みがあった上に酸素濃度が低く、念のためとレントゲン撮影を行いに病院へ行きました。その一週間後に、風邪薬が気管に張り付くという事態が起きてしまったため、病院へまた向かいました。病院に行く回数が多かったため、securityと病院の方に完全に覚えられていました。あと病院に行くたびに思うのですが、Alberta healthcare cardの存在がかなり大きいです。エドモントンにいるときに何気なく作ったものが、オールズでこんなに役に立つとは思ってなかったので、作っておいてよかったなと思いました。

他には映画を見に行ったり、メキシコ料理と日本料理を作りあったりしていました。日本食を作るときに材料があまりなく、ちょっと困りました。

Crop nutritionのTerm Projectの方はまあまあです。二人の意見がなかなかまとめられずに苦戦しています。来月にこのProjectの口頭試問があるのですが、二人で答えるのがうまくいくかがかなり不安です。授業では雑草と病害のマネジメントなど勉強をしています。英語の授業ではjob interviewやプレゼンテーションについてやっています。自分の勉強している専門分野を、全く知らない人に簡単に噛み砕いて伝えるということのむずかしさを実感しています。また、うまく伝えるべきにもっと語彙数を増やすべきだなと思いました。留学生活も残り二週間となりました。また、テストまであと二週間なので最後まで頑張りたいと思います。



＜４月＞

約２週間はほぼプレゼンテーションとcrop nutritionのプロジェクトをメインにやっていました。科目のテストもプロジェクトの口答試問も無事終わり、４月上旬にcrop nutrition の結果が出ました。何とか平均より上にこぎつけていたのでよかったです。

不安だったプロジェクトは何とかパートナーと意見を合わすことができました。荷造りを帰国日の３日前から行っていたのですが、全くはかどらず、恥ずかしながら帰国前夜にルームメイトや友達に手伝ってもらいました。早く日本に帰りたい気持ちとここでの友達と離れるのが辛い気持ちがあり、少し複雑です。帰ったら授業が始まっていると思うのでまたここで学んだことを生かして頑張りたいと思います。

＜一年間の留学を終えて＞

留学する前は自分の英語力はかなりひどいもので、人に通じるのかなと思っていました。そして、

やはり留学先のオールズカレッジでは、自分自身は100％通じていると思っていた英語は全くと言っていいほど通じていないということに気付きました。カナダ人の人に話しかけても何回も聞き直されるということが嫌なくらいあり、何回も心が折れたことがありました。そのため、自分の英語に自信がなくなったこともありましたが、あきらめずに話しかけることで、きちんと私の英語を理解してくれる人も徐々に増えていきました。その結果、忍耐力がつき、英語を話すことへの自信につながったと思います。

専門分野の面では、カナダは日本と比べ農地面積が大きいため、作業のほとんどで機械化が進んでいるので、播種する機械や肥料散布に使う機械などの農業機械についてたくさん学ぶことができました。特に、日本ではまだ普及していないGISを用い土壌の養分別に肥料散布を行う機械やコムギのハーベスターなどについて学ぶことができました。

また、オールズカレッジ内には酪農学園大学内では育てられていない遺伝子組み換えの作物などがあったためとても貴重な経験ができました。酪農学園大学では学べないことを学び取ることができたと感じています。さらに、酪農学園大学で学んでいたこととは異なり、農家の立場から考えるという視点を学びました。その土地にあった栽培を行うために、輪作体系や気候かなどのたくさんの項目を視野に入れつつの栽培方法の提案をするという授業では、畑のマネジメントを学びました。これにより総合的な判断をする力を培うことができました。私が所属しているゼミも栽培方法について

なので、これからは日本とカナダの栽培方法の違いについて学んでいきたいと思っています。

私生活では、カナダ人と一緒の授業を受けてみて、みんなができることを自分は同じようにできないことに苛立ちを感じました。普通にわかるようなことでも理解するのに一苦労するなどたくさんありましたが、少しずつでも努力続けていれば、そのうちみんなと同じようにできるようになると思い頑張りました。自分と違う文化で生活してきた人と生活するといろんなトラブルが発生しましたが、まずは自分の意思をはっきり伝えるということが大切だなと思いました。そのことを再確認したのは、自分が風邪を引いてつらい状況にあったときに、ルームメイトが空気や場を読んで理解してくれることはなかったため、自分で状況を説明して頼らなければならなかったときです。言葉にしないと伝わらないなと感じたため、それから自己主張をしっかりしていくようにして自分の立場をはっきりさせるということができるようになったなと感じます。

将来、青年海外協力隊として世界に羽ばたきたいとおもっているので、今回の留学で得た農学の知識と英語力を生かせるように、在学中にもっと勉強して頑張りたいと思います。

平野　美澄
農食環境学群
環境共生学類
3年生

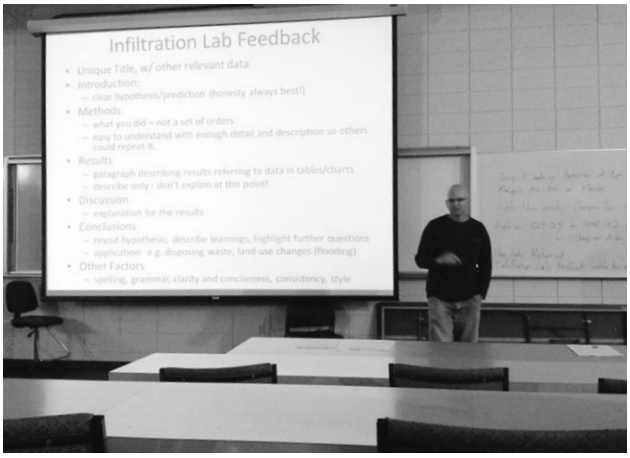
＜カナダでの勉強について＞

1. ESLでの授業

まずは、ESLでの英語研修について書きます。ESLではまず、レベル分けのテストがありました。それがプレイスメントテストです。Speaking, Writing, Writing, Readingの四つのテストがありました。Speakingでは実際に先生に質問され、それに答えるという方式でした。

農業のための英語クラス

Writingはいくつかのお題の中から好きなものを選び、それについて書くというものでした。レベルは105～145まであり、145を終了するとアルバータ大学に通うことができます。私はまず、120のクラスからスタートしました。16人のクラスでそのうちの7人が日本人でした。後は、モンゴル、中国、韓国、コロンビア、サウジアラビアから来た人たちがいました。先生はEdmonton生まれのLisaです。Lisaの授業はSpeakingが中心で、毎回授業が始まる前にスモールトークという名目で、「昨日何をしたか」「天気はどうか」など、お題についてクラスメイトと話をするということをしていました。だんだんお題が難しくなっていきましたが、次第に会話力も身につき、実践あるのみだなと感じました。そして、Writing の授業でも、毎週お題を出されて書くほか、ペンギンリーダーという少し短い本の宿題もありました。あとの授業は、二冊の教科書とプリントで行われていました。授業中に分からない単語がある



専門授業

と日本人はだいたい辞書で調べますが、Lisaは辞書を授業中に使うのは禁止にしていました。分からないことがあればLisaに聞いていました。実際その方が単語の英語のニュアンスが分かり、実際に使いやすかったです。しかしその反面、日本語で意味を説明しづらいということもありました。毎日出される宿題は放課後友達と一緒にした

農業のための英語クラス

り、家に帰ってしたりしていました。また、毎週ある単語テストのために単語の勉強もかかさずしていました。ファイナルプレゼンテーションでは、コロンビア人のクララと組み、コロンビアと日本のhealth systemの違いについてプレゼンしまし

た。内容が難しくて大変でしたが、努力の甲斐あって、先生にほめられて嬉しかったです。

無事にテストを受かったので125のレベルになりました。125のクラスは、日本、サウジアラビア、中国、スペイン、ベネズエラ、韓国から来た人たちと同じクラスでした。このクラスの先生はDebbieです。DebbieはもともとWritingの先生なのでWriting中心の授業になりました。ほぼ毎日エッセイを書いているのでとても大変でした。そしてこのタームから教科書の会社が変わり、更にレベルも上がったので教科書がとても難しくなりました。内容がアカデミックになり、石油や経済そしてミイラについての文を読みました。単語自体がとても難しいので大変です。後は、前のクラスと同じように単語テストや、ペンギンリーダーがありました。

教授と

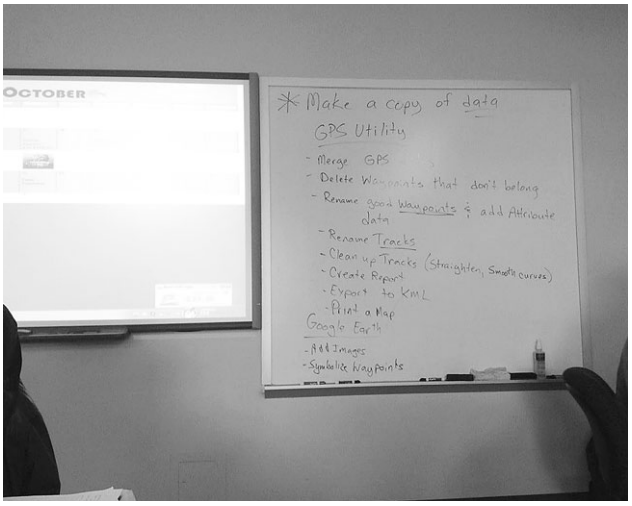
2. Oldsでの授業

1) GPS

Oldsでは、前期に3つ、後期に2つの授業を受けました。まず、GPSの授業を受けました。GPSの基礎的なこと、フィールドの測定技術、デジタルマッピング（電子地図を作成すること）を学びました。この授業は毎回パソコンを使って授業を受けました。まずは、GPSの基礎的な使い方を、実際に学校内を歩き、ポイントを落としながら習いました。日本でも使ったことがないので説明を聞きながらするのは大変でした。そしてパソコンを使って演習をしたり、学校内で距離を測ったり、自分で地図を作りました。毎回課題を出さなければならないのですが、ついていくのが

GPS

大変で先生に良く質問していました。最初の方は基礎的だったのでだいたいわかりましたが、だんだん難しくなり先生に助けを借りていました。しかし、現地の学生も初めて使う子が多く、たくさんの生徒が先生に質問していたので私の番が来るまで待つことがよくありました。テストでは、プリントなどを見ていいので助かりました。



GPSの授業

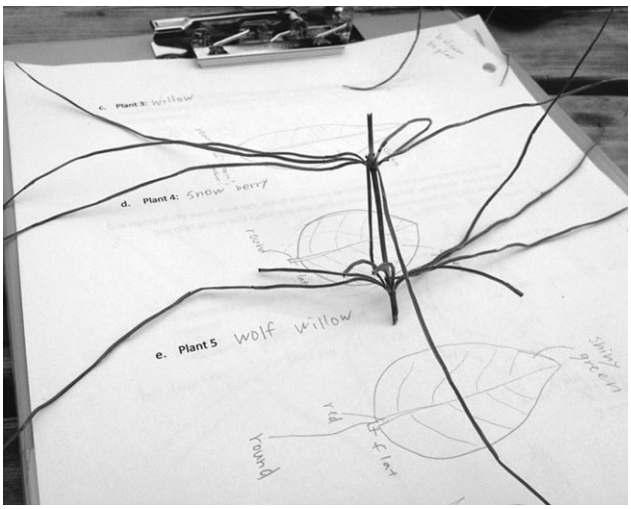
2) Water Fundamental

この授業では、表面・地下水、水質基準、水質分析などを学びました。簡単に言うと、ダムや洪水、雨などのすべての水についてです。まず、教科書を読むのが大変でした。知らない単語はもちろん読まなければならない量が多く最初はとてもついていけませんでした。なので、授業を毎回録音して分からなかったところは聞いていました。

そして、そのことを相談するとチューターと言って優秀な学生に授業内容などを教えてもらえるものがあるのでチューターを頼みました。分かりやすくやさしく教えてくれるのでとても助かりました。

3）Applied Ecology

この授業では種、集団、地域社会、および生態系レベルでの生態を学びました。また、北方林の生態学、森林管理、草地生態学も学びました。この授業では、私が学びたかった環境や野生動物についての授業に一番近かったため毎回楽しみでした。動物については少ししか授業はありませんでしたが面白い授業でした。Plant IDのクイズや授業で習ったことの小テストがあるのでおさらいができ、良かったです。



植物観察

4）フィールド実習（Kananaskis, Dry Island,）

それまでに勉強してきたことを活かして実際にフィールド実習も行いました。GPSでポイントを落としたり、先生の説明を聞きながらワークシートを埋めたりしました。車がないとなかなか行けないところで授業を行ったので、景色なども楽しむことができました。

5）English for Agriculture

この授業では後期からきているメキシコ人のために開かれている授業で私たちも参加しました。３人のメキシコ人の学生とともに学びました。Andreaという女の子ととても仲良くなりま

フィールド実習

した。最初は5W1Hなどの基礎の基礎から学び始めてESLの授業のレベルとの違いに驚いていましたが、だんだん内容が難しくなってきたので安心しました。そメキシコの学生は、このタームが終わると実際に働かなければならないので、カナダのresumeの書き方も学んでいました。

＜現地の人々との交流について＞

1．ホストファミリーについて

私のホストファミリーは、お父さんのAndy、お母さんのLorraine、長女のStephanie、長男のEric、次男のCraig、そしてトイプードルのRustyです。子供たちは皆美男美女でした。Andyは二度結婚しているので、前の奥さんとの子供と孫までいて大家族でした。そのため休日に皆で集まり食事をすることが多かったです。Andyは家で仕事をしており、Lorraineはズンバの講師をしています。StephanieとEricは役者をしていて、Craigは料理人です。

ホストファミリー

平日の朝は、コーンフレークやフルーツを食べ、お昼はサンドイッチを作るか前の日の晩ご飯の残りを持って行って食べていました。晩御飯はLorraineが作ってくれるのですが美味しいのでついつい食べ過ぎてしまいます。そのためカナダへ来て体重が増えました。空いている時間はLorraineのズンバ教室へ行ったり近くを散歩したりして過ごしました。またStephanieの子供向けの劇も見に行きました。妖精のお話で分かりやすく楽しかったです。

2. アクティビティーについて

1）チャリティーマラソン

ESLで知り合った日本人の友達に誘われてチャリティーマラソンに参加しました。5㎞をゆっくり30分弱くらいで走りました。このお金は、医療系のことに使われるようです。

チャリティーマラソン

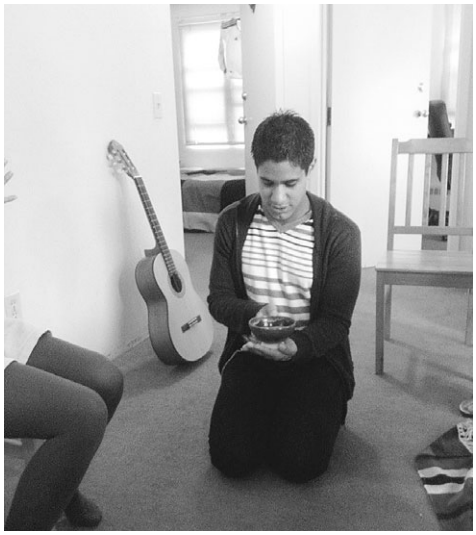
2）BBQ

ESLの友達とBBQをしました。たくさんの人が集まり、違うレベルのクラスの人たちとも知り合うことができました。フリスビーのゲームやタオルを取り合うゲームなど体を動かすゲームだったのですぐに仲良くなることができました。

3）日本料理パーティー

コロンビアとサウジアラビアの友達に焼きそばと味噌汁を作りました。豆腐やわかめは食べづらかったみたいですが、焼きそばはとても気に入ってくれて良かったです。また、抹茶をたてる体験もしてもらいました。

日本食パーティー



抹茶を立てているところ

4）ESLのピクニック

ESLがちょうど40周年で記念のピクニックをしました。他のクラスとゲームなどをして対戦しました。お昼は皆一品ずつ持ち寄り皆でいろいろな国の料理を食べました。クラスが団結してとても良かったです。

ESLのピクニック

クラス対抗を終えて

5）カラオケ

韓国人の友達とカラオケに行きました。日本式のお店はなかったので韓国式のカラオケに行きました。日本の歌も入っており、久しぶりで楽しかったです。韓国人の友達がとても上手で驚きました。

韓国式のカラオケ

6）Taylor Swift コンサート

ちょうどEdmontonでTaylor Swiftのコンサートがあったので友達と行ってきました。日本と違い皆写真を撮ったり、動画を撮ったり自由な感じでした。近くでスターを見られて感動しました。

Taylor Swift

テイラーのコンサート

7）Heritage Festival

たくさんの国のパビリオンがあるお祭りでボランティアをしました。日本のパビリオンでけん玉のやり方を教えました。ボランティアが終わって友達と様々なブースを回り、世界各国の伝統的な踊りや食べ物、服などを見たり、食べたりしました。

ヘリテージフェスティバル

K Days

8）K Days

移動式ミニ遊園地で遊びました。射的や出店、劇があったりと盛りだくさんで楽しかったです。

9）Farewell Party

私と竹林さんは、Edmontonを離れOldsへと移動するので友達がFarewell partyを開いてくれました。メキシカンパブでご飯を食べ、沢山話をし、写真を撮りました。その後近くのお祭りへ行き、夜はコリアンパブでお酒を飲みました。別れる時は本当に辛くすごく泣いてしまいました。素敵な友達に会えて幸せでした。

Farewell party

10）ルームメイト

Oldsではタウンハウスというひとつの家を四人でシェアしていました。ルームメイトのうち、二人は獣医看護、もう一人は被服のコースへ通っていました。調理器具は皆で共有していました。私は包丁やまな板くらいしか買っていなかったのでとても助かりました。しかし、食べ物は最

タウンハウスの前で

ルームメイト

初皆でシェアということになってしまい、私はみんなと食べる量も違うし嫌だなと思っていたので、途中から牛乳や油等以外は個人で買うことにしました。

基本的に各自で食事を取るのですが、たまに一緒に食べたり、ピザを一緒に作ったり、お好み焼きやカレーなどを作ってあげたりしました。一人のルームメイトは、アジアの料理が好きで日本食

ルームメイト

をとても気に入ってくれて嬉しかったです。タウンハウスは半地下と一階、二階があり、私の部屋は半地下にあったため、冬は窓が凍って寒かったです。一階にリビングとキッチンがあり、お風呂とトイレはそれぞれ半地下と二階、洗濯機と乾燥機は二階にありました。一人部屋なので快適でした。

夜には映画を見ながらポップコーンを食べたりしました。

＜カナダでの余暇の過ごし方＞

1. Banff（6/29～7/1）

自然が豊かで景色がとても綺麗なところでした。ここでは野生動物にも出会うことができます。私は、乗馬、カヌー、ゴンドラ、登山をしました。馬に乗って川を渡ったのですが、Calgaryで洪水が起きた後だったので、水かさがすごく増えていてスリリングでした。日本では、乗馬といってもそばにずっと係員の人がついていたり、短い間しか乗れなかったりするのですが、ここでは経験がない人でも少しレクチャーを受けただけで長いあいだ乗れるのでとても楽しかったです。景色にも癒されました。

バンフ

乗　馬

バンクーバー

2）Vancouver（7/12～7/14）

都会なのでたくさんのお店があり、ウインドウショッピングを楽しみました。Edmontonに比べると日本人もとても多かったです。私の知り合いのSunnyさんに水族館へ連れて行ってもらいました。また、English bayを散歩したり、トーテムポールを見たり、イヌクシュクを見たりしました。中学の時にVancouverに来たことがあり、水族館やEnglish bayには訪れたことがあったので、とても懐かしく感じました。

3. Toronto, Niagara Falls, New York（7/16～7/20）

まず、飛行機でTorontoまで行ったのですが、着いて外に出た瞬間、日本の夏のようなむっと

自由の女神

する暑さを久しぶりに感じました。Edmontonは湿度が高くなく、日陰にいればとても涼しいので、この暑さにやられてこの旅行中皆の疲労感が増してしまいましたが、頑張ってCNタワーや美術館などに行きました。次の日は、電車とバスを使いNiagara Fallsに行きました。着いてすぐ滝が見え、とても迫力がありました。船に乗って滝の下まで行ったので、水しぶきがすごかったです。そして、歩いて橋を渡りアメリカへと行きました。入国審査で担当の人がすごく怖く、手続きが大変でした。

ブロードウェイ

その後、夜行バスでNew Yorkへと行きました。着いてからホステルへ行き、シャワーを浴びたり仮眠を取ったりしたあとに、自由の女神を見に行きました。私たちは島へ渡れる有料の船を選び、島へ渡りました。実際に自由の女神が見えてきても実感がわきませんでしたが、島に着いて近くで見たときは本当に感動しました。いつもテレビや写真で見ていたので、実際に見られてとても嬉しかったです。その後、タイムズスクエア、グランド・セントラル駅に行きました。やはりすごい人の数で全世界から人が集まっているような感じがしました。また、ブロードウェイでマンマ・ミーアを見ました。本場のミュージカルはとても面白く、ストーリーに引き込まれました。エンパイア・ステート・ビルでは綺麗な夜景を見ました。今回の旅は短期間で、しかも暑さで疲れましたがとても楽しく充実していました。

4. Yellowknife（12/15～12/18）

まず、OldsからEdmontonまでバスで行きそれからYellowknifeへ飛行機で行くのですが、バスに乗る直前に自分の部屋に財布を忘れてきたことに気付きました。しかしもう戻ることもできず一緒に行く竹林さんに借りることになりました。

イエローナイフ

とても申し訳なく自己嫌悪に陥りました。今となってはいい思い出ですが、あの時は本当に焦りました。

Yellowknifeに行く前日にESLの友達とピザを食べに行きました。母国へ帰ってしまった友達ともビデオ通話をしてとても楽しかったです。その翌日、Yellowknifeに飛行機で行ったのですが、着いたら井上さんの荷物だけ手違いで届いておらず、最速で次の日の朝届くということでした。海外ではよくこのような事が起きると聞いていたのですが、「ついにか！」という気分で、荷物が翌日に届くのか不安でした。今回はオーロラを見る旅だったためツアーを申し込んでいたので空港に

オーロラ

担当の人が迎えに来てくれていたのに、荷物の手続きをしていたら少し遅れてしまい、晩御飯を食べていないままツアーに出発しました。防寒着をかりて万全の準備で出発しました。オーロラが見えるところへ着いてティーピーという昔のテントのような住居で説明を聞きツアーが開始しました。ツアーといってもオーロラがいつ出るかわからないので、ティーピーで待機したり、外で待機したりと自由な感じでした。最初はオーロラの光が弱かったのですが、だんだん強くなりピンク色の綺麗なオーロラが見られました。揺れて踊って

イエローナイフ

いるように見えてとても幻想的で綺麗でした。この日が三日目という人は初めてこんな綺麗なオーロラを見たと言っていました。ピンク色のオーロラはなかなか見られないらしく、一日目で見られてラッキーでした。二日目は市内観光をしました。議事堂や車が通れるほど凍った湖、お土産屋さんにも行きました。この日の夜は、前日ほどオーロラがあまり見えませんでした。三日目はオーロラを見に行くバスに乗るとそこにESLで知り合った友達が偶然いてとても驚きま

ナイアガラの滝

した。最終日は再び綺麗なオーロラが見られて良かったです。しかし、帰りの飛行機があわせて６時間近く遅れてとても疲れました。しかも今度は私の荷物が届かず災難続きの日でした。最終のバスもなかったためタクシーに乗ったのですが運転手のおじさんがとても陽気でいい人だったので少し疲れが癒されました。

５. Montreal, Quebec, Ottawa（12/26～31）

まず、街を散策しました。アルバータと違いフランス語圏なので建物もヨーロッパ調で可愛かったです。その後、ノートルダム大聖堂に行きました。とても大きく綺麗で圧倒されました。メープルシロップ専門店で食べたメープルシロップは、日本で食べるものとは違い、本場の味を味わうことができました。夜はシルクドソレイユを見に行きました。とても不思議な舞台でしたが、面白くてなんども大笑いしました。その後、大学の先輩が農業研修でカナダへ来ていたので、急遽会うことになりました。久しぶりに会えて懐かしく感じ

カナダの町並み

ノートルダム大聖堂

イヌクシュク

メープル専門店

ました。そしてバスに乗ってQuebecへ行きました。ここも街並みが本当に可愛かったです。クレープを食べたのですがとても美味しく次の日も同じお店で食べてしまいました。ここでもノートルダム大聖堂に行きました。そしてOttawaでは、国立美術館、ノートルダム大聖堂へ行きました。ホテルを探している時にキャリーケースを運びながら地図を見て道を探していると三人もの人が声をかけてくれ道を教えてくれました。ノートルダム大聖堂はそれぞれ違いがあり、どれも綺麗でした。

9. パーティー

カナダの学生は日本の学生と同じ、むしろそれよりもっとお酒を飲むのが好きです。ルームメイトの誕生日の時は、ビアポンといって紙コップにビールなどのアルコールを入れ、それを並べピンポン玉を投げて相手の紙コップに入れたら相手がビールを飲む、自分の紙コップに入れられたら自分が飲むというゲームをしました。よくビアポンをやっているのを見かけました。あとは、もう飲んで話をしてクラブで踊るといった感じです。本当にタフで次の日朝から授業でもずっと飲んでいるのですごいなと思いました。一方で授業を休んでいた学生もいましたが・・・。他にもデートオークションと言ってランウェイに出てきた人をオークションし、デート権を得るという面白いものもありました。集まったお金は大学のセキュリティーをよくするために使われるそうです。他に

パーティ　ビアポン

パーティ　デートチャリティ

盛り上がる学生

もハロウィン、仮装などの様々なパーティーがありました。Oldsの学生は週末に実家に帰ってしまう人達が多いので、金曜日ではなく木曜日によくパーティーが行われていました。

ESLの友達と

＜1年間の海外留学を終えて＞

1年間のカナダでの留学を終えて得たものは、もちろん語学力です。特にリスニング力は1年前よりも良くなりました。今までテレビなどで聞こえてくる英語をそのまま聞き流していましたが、今はどのような意味か把握することができます。映画も難しい内容でなければ字幕なしで見てもほぼ理解できるようになったと思います。Writingは今もまだ苦手ですが、前よりはスラスラと書けるようになったと思います。Speakingもすごく良くなったと思います。最初の頃はクラスでディスカッションしてもなかなか自分の意見を言えず、「賛成です。」などの簡単なことしか言えませんでしたが、今はきちんと「なぜそう思っているか」を言えるようになりました。これは旅行にも大いに役立ちました。前だったら、遠慮して言えなかったことや聞きたいことなどを、物怖じせず聞けるようになりました。Readingも前より英語の文章を読むのが苦ではなくなりました。一つの単語が分からなくても前後から雰囲気を読み取り、文を読む力がついたと思います。しかし、まだまだ語彙力が足りないと感じました。留学に行く前にもっと単語の勉強をすればよかったと思いました。他人が話していることを聞くのは理解できても自分が話すときや説明するときに語彙力のなさで説明できません。特に専門的なことがそうです。これからは英語を日常で使わないため、どんどん語学力が落ちていくと思います。そうならないためにも、英語のドラマや映画を見たりしながら、苦手なWriting力と単語力を高めていきたいです。

タウンハウスでの食事風景

他に得たものは世界各国の友達です。いろいろな国の友達が増えることで、いろいろな文化や価値観を知り、理解することができました。例えば宗教についてです。イスラム教徒の断食や食べてはいけないもの、考え方。そして日本では常識だと思っていることが、海外では逆に非常識になる

ことがあります。このようなことがあるため、お互い相手の文化をよく知ることが大事です。

また、日本の良い点、悪い点を客観的に見ることができました。良い点は、とにかくキレイ、安全、便利ということです。どこへ行っても日本はキレイです。また夜に外に居てもそこまで危険ではありません。また、コンビニなど24時間営業しているところがたくさんあります。悪い点は、

現地のファストフード

見て見ぬふりをすること､消極的ということです。私が日本についてすぐキャリーケースと両手に荷物をたくさん持って階段を降りていましたが、皆見て見ぬふりという感じで悲しくなりました。また、日本の学生は消極的だなと感じました。質問できるところでもなかなか質問しないことが多いです。

ほかには、自分が日本について知らな過ぎるとも感じました。「日本ではどうなの?」と聞かれた時にすぐ答えられず調べなければわからないことが沢山あり、海外に行く前には、まず日本について知るべきだと思いました。そして、ただ単に観光で行く海外旅行と、外国で一年住むということの違いについても感じました。ただ単に旅行に

クリスマスカード

行くだけならば、楽しかった、良かった、悪かったなどしか感じないと思います。しかし、実際に住んでみるとその土地のこと、人々、そして自分が日本人で外国人であるということなどを感じ、知ることができます。知らない土地で、一年も暮らすという楽しさだけでは乗り越えられないことがたくさんあります。私は山口県出身で、知り合いも誰もいない北海道に来ました。その時も少しさみしい時がありましたが、言葉の通じない海外ではもっと強く孤独や寂しさを感じました。なんども日本に帰りたいと思ったこともあります。しかし、その度になぜ留学に来たのかを考え、留学することに賛成し、支援してくれている家族や友達のことを考えました。また、カナダでできた友達や先生も力となってくれました。この経験によって少し強くなったと思います。

バス車内

休暇中にはいろいろなところに旅行にいったのですが、自分たちの力だけで旅行することによって、ただ観光をするだけでなくいろいろなトラブルにも対処できる問題解決能力が高くなったと思います。日本と違い、バスや電車も時間通りに来ることはありません。先を見て、計画を立て、トラブルにも臨機応変に対処できるようになったのではないかと思います。日本と違い治安があまりよくないところもありました。しかしどのように対処す経験することができ、今後ほかの国へ行っても少しは安心なのではないかと思いました。

将来、私は海外で野生動物に関わる仕事に就きたいと考えています。この留学もそのための一つの準備だと考えています。Oldsで習った専

門的な知識をより広げ、これからに活かしていかなければならないと思います。GPSは実際に調査などでも使います。使い方を忘れているのでまたきちんと学び直したいと思います。Water Fundamental, Applied Ecologyは、今勉強していることや、これから勉強する授業に当てはまることがたくさんあると思います。今はまだまだどのようなことをやりたいか、何ができるのかわかりませんが、今回の留学を経て夢に一歩近づけたのではないかと思っています。楽しいだけでなく、苦しいこともあり、泣いた日もたくさんありました。しかし、この留学をして得たものはどんなことにも変えられない素晴らしい経験だと思っています。留学をして本当に良かったです。

ホストファミリーと団欒

日本料理パーティ

OLDS COLLEGE

北海道アルバータ酪農科学技術交流協会
Hokkaido-Alberta Dairy Science and Technique Exchange Association

〒069－8501　江別市文京台緑町582番地
酪農学園大学エクステンションセンター内
TEL.011－386－1292　FAX.011－387－2805
E-mail : exc-alt@rakuno.ac.jp
Homepage : http://alberta.rakuno.org/